

小説『泥流地帯』『陸泥流地帯』

# 映画化プロジェクト

# ニュース

2025  
3/7  
発行

かみんの

連携  
事業

三浦綾子記念文学館



公式WEBページ

発行：『泥流地帯』映画化を進める会事務局  
(上富良野町企画商工観光課 電話 0167-45-6983)

3月

映画『パーフェクトワールド君といる奇跡』  
柴山健次監督による  
映画化が遂に決定！

悲願の実写映画化に向け三度目の  
正直となる制作がいよいよ始まる

上富良野町は3月7日、映画監督・柴山健次氏と共同で、『泥流地帯』映画制作に関するプレスリリースを発売。二度にわたる制作事業者の撤退や新型コロナウイルスなどの試練を乗り越え、遂に三度目の正直となる映画制作の号砲が遂に鳴らされた。

メガホンをとるのは映画『パーフェクトワールド 君といる奇跡』(18主演・岩田剛典、杉咲花)、『今はちよっとついてないだけ』(22主演・玉山鉄二)などで知られる気鋭の監督、柴山健次氏。実は上富良野を何度も訪れ、作品も深く読み込む『泥流地帯』ファンでもある。



三浦綾子記念文学館・田中館長と対談する柴山健次監督  
('20 保健福祉総合センターかみん)

【柴山健次監督コメント(抜粋)】

この物語が、このタイミングで映画化されるに至ったのは時代の要請としか考えられない。人間讃歌と呼べるこの映画の完成を、腹を括って、成し遂げようと思います。

スーパーバイザーを務めるのは

『おくりびと』(08)の滝田洋二郎氏

そして一昨年、映画企画に携わり、上富良野を何度も訪れ、講演会では多くの町民を前に映画の素晴らしさと難しさを説いた、米アカデミー賞外国語映画賞受賞作『おくりびと』の映画監督・滝田洋二郎氏が映画『泥流地帯』のスーパーバイザーに就任。町民悲願の映画化を強力に後押しするという、まさに「最強布陣」でのスタートとなる。



映画監督 滝田洋二郎氏

キャストや撮影時期は今後随時発表

気になるキャストや撮影時期の発表にはまだしばらく時間を要するが、配給には実績のある「アークエンタテインメント」が名乗りを上げている。まずは本映画の製作委員会の立ち上げを急ぎ、泥流災害からちょうど百年となる来年2026年の撮影を目指したい考えだ。

映画『泥流地帯』(原作 三浦綾子)

制作 映画『泥流地帯』製作委員会(予定)

協力 一般社団法人三浦綾子記念文化財団、泥流地帯映画化を進める会、一般社団法人口ケツリズム協

議会、MPS合同会社ほか